

テーマ別評価

## 災害時における緊急支援事業への補助

公益財団法人 JKA

# 1. JKA補助事業における災害時における緊急支援事業への補助について 緊急支援事業への補助の概要

## ● JKA補助事業における緊急的な対応を必要とする事業への支援について (2024年度 補助方針より)

国民の安全・安心な生活に影響を及ぼすような非常災害や非常事態等における、人的・物的その他必要な救援・救助活動や復旧・復興活動、左記の諸活動を行う事業者に対する物資の整備事業、及び非常災害や非常事態等において被災・被害を受けた事業者に対する支援を行う。

## ● 対象要件

次に掲げる5つの要件すべてを満たすもの。

1. 迅速に対応することが必要な事業であること。
2. 機動的に予算措置を講じることによって、早期に事業実施することができること。
3. 当該事業を行う具体的計画を有し、かつ、事業を的確に実施できる能力を有する者であること。
4. 毎年恒例的に実施されている事業ではないこと。(2.の(1)を除く)
5. 過去において否採択とされた事業ではないこと。

## 2. 過去の支援実績

### 2019年度 補助実績

- ・ 緊急的な対応を必要とする事業への支援

25件 約4000万円

- ・ 2019年に発生した台風19号で被災し、水没し廃車となった福祉車両の整備等を行った。



### 2020年度 補助実績

- ・ 緊急的な対応を必要とする事業への支援

67件 約9500万円

- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大の防止に向けた設備や備品の整備などの支援を行った。



### 2021年度 補助実績

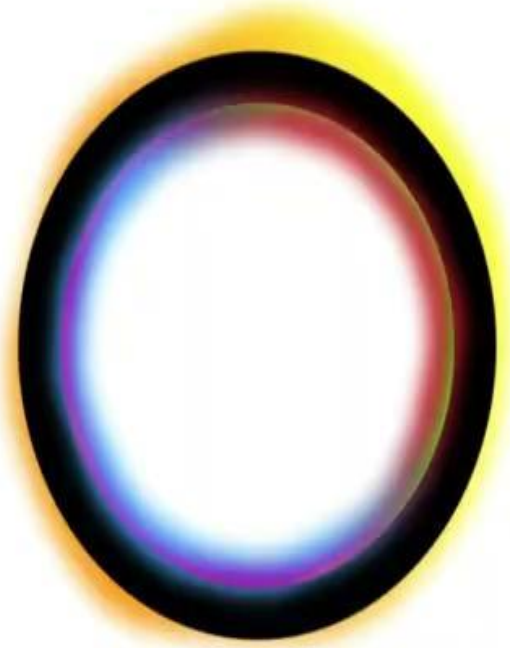
- ・ 緊急的な対応を必要とする事業への支援

602件 約5億円

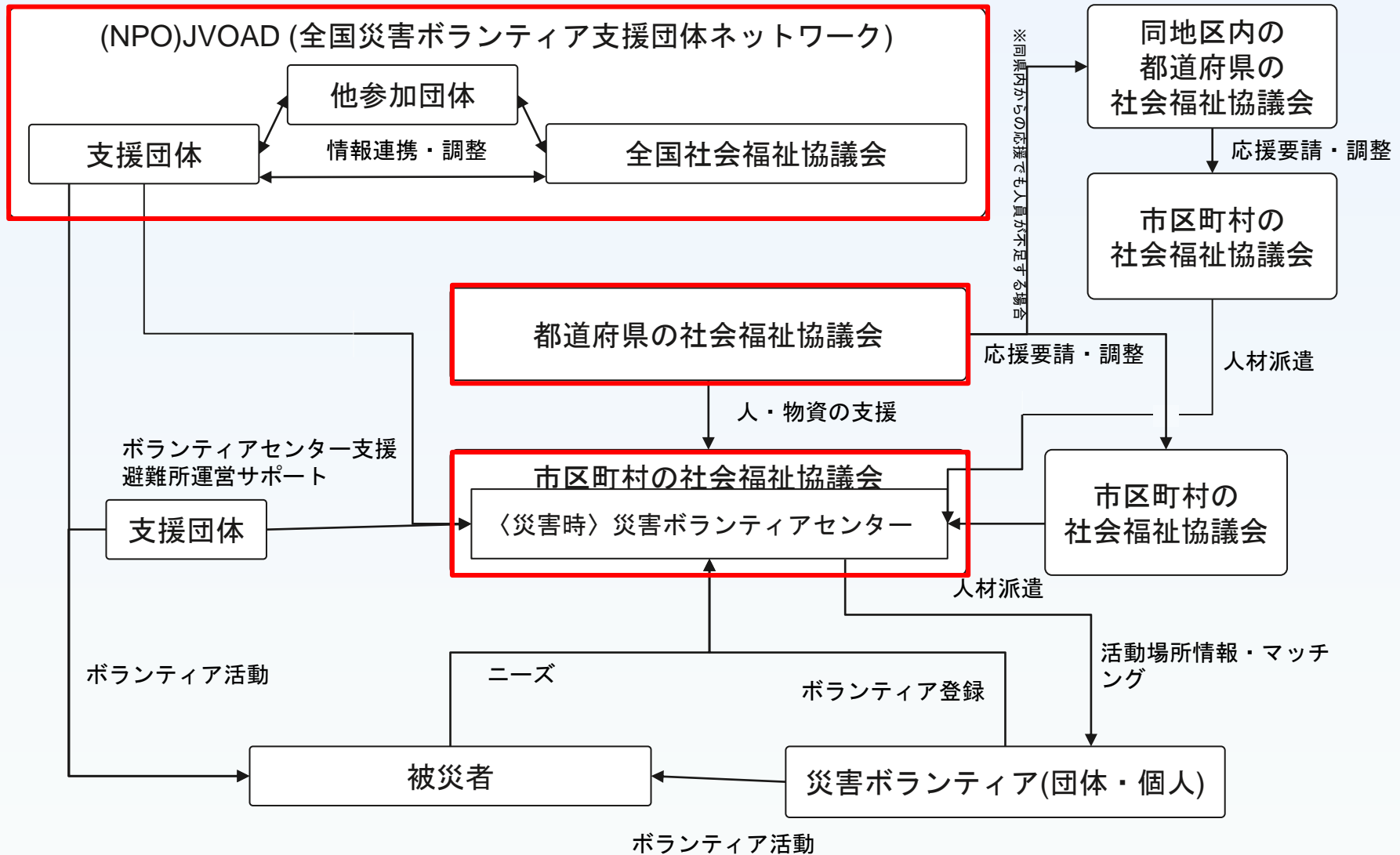
- ・ 追加支援「福祉車両の整備」の支援 (第2回募集)

73件 約1億1000万円





### 3. 現在の災害時における各組織(ボランティア系)の関係



## 4. 補助申請候補団体リスト(1/2)

団体名	主な取り組み(災害緊急支援関係)
岡山NPOセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害支援ネットワーク岡山の設立・事務局</li> <li>・災害関連の研修企画・運営・講師派遣</li> <li>・災害対応時のツール・システム開発</li> </ul>
カリタスジャパン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・募金活動</li> <li>・全国のボランティア宿泊所の運営</li> </ul>
北の国災害サポートチーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における支援活動（道内では、災害中間支援組織として活動）</li> </ul>
グッドネーバース・ジャパン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアセンターの運営サポート</li> <li>・支援物資配布</li> <li>・インフラ・建物の再建</li> <li>・子供支援 など</li> </ul>
国土舘大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生ボランティアの派遣</li> </ul>
災害医療ACT研究所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災地に対するアドバイザースタッフの派遣</li> <li>・被災地における人的ネットワークの活用</li> </ul>
ジャパン・プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティアをするNGOへの中間支援（企業・個人・政府からの支援等のネットワーク構築）</li> </ul>
情報支援レスキュー隊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアセンターの運営サポート</li> </ul>
震災がつなぐ全国ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア派遣</li> <li>・災害後対応のビラ配布 等</li> </ul>
真如苑救援ボランティアサーブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア派遣</li> </ul>
全国曹洞宗青年会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア派遣</li> <li>・避難所運営支援</li> <li>・支援物資配布 など</li> </ul>

※特定非営利活動法人(認定NPO)全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD) 会員団体ページより  
<https://jvoad.jp/member/>

## 4. 補助申請候補団体リスト(2/2)

団体名	主な取り組み(災害緊急支援関係)
台湾佛教慈濟慈善事業基金会	・炊き出し等ボランティア派遣
難民を助ける会	・災害ボランティア派遣
日本カーシェアリング協会	・災害時の自動車の貸し出し
日本財団ボランティアセンター	・ボランティア活動のマッチング など
日本生活協同組合連合会	・生活再建のための支援活動・募金活動
日本赤十字社	・医療救護 ・救援物資の配布 ・血液製剤の供給
日本搜索救助犬協会	・救助犬の派遣
日本YMCA同盟	・募金活動 ・災害ボランティア派遣
ピースボート災害支援センター <b>※インタビュー実施</b>	・災害ボランティア派遣 ・募金活動
末日聖徒イエス・キリスト協会／ヘルピングハンズ	・災害ボランティア派遣
ランゲージワン	・電話・メールの多言語通話サービスの提供
レスキューストックヤード	・災害ボランティア派遣

※特定非営利活動法人(認定NPO)全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD) 会員団体ページより  
<https://jvoad.jp/member/>

## 5. インタビュー結果

インタビュー対象団体

事業者の声（インタビュー内容より一部抜粋）

久留米市社会福祉協  
議会

### ボランティアへの支援への希望、JKA補助金と共同募金との違い

- 特に発災から1～2週間が一番資金を使うタイミングなので、**災害ボランティアセンターが立ち上がっている時**には前払いで対応してもらえるとありがたい。
- ボランティアに資器材を貸与するが、常備している物だけでは足りないため他から借りるが、それが届くまでに時間がかかるため、**物品費として使えるとありがたい。**
- 共同募金からは、前渡しで300万円を事業経費に使用でき（人件費・飲食代では使用不可）、災害ボランティアセンター閉鎖後に領収書で清算を行い、余った場合は返金する。今回の災害では、レンタカーや燃料代、サテライトの場所利用料などに使用した。



## 5.インタビュー結果

### インタビュー対象団体

### 事業者の声（インタビュー内容より一部抜粋）

ピースボート災害支援  
センター(PBV)

#### ボランティア実施における課題・問題

- 発災後は、報道も活発で、資金や人手が集まるが、報道が終わった後も被災地には資金・人が必要だが、そこに支援が足りていない。
- **一定程度の時期が経過した後で発生するニーズ**の一つである水害被害で床上浸水をした家屋の清掃は、行政だと対応できないため、ボランティアが行うが、技術的に床をはがす、屋根の応急対応をするなど技術的な支援ができる団体・人が少ない。

#### ボランティアへの支援への希望、JKA補助金と日本財団との違い

- 被災地のニーズに合わせて支援をするため、お金を何に使うかは**多種多様**であり、支援をいただけるのであれば**柔軟に使えるお金**だとありがたい。
- 日本財団とは**事前に連携**を取っており、発災時にお金を出してもらうことを取り決めている。先にお金をもらい、その後申請を行い、活動後領収書で清算をしている。

## 6. まとめ

### ● 今後に向けての考え方

✓**時間経過によるニーズの変化を把握し、補助費目への反映を検討する**  
被災状況や被災者のニーズは、発災直後においても時間経過によって変化することが多いため、状況に合わせて用途を変えられる支援への期待が高い。一方で、災害後、一定程度の時期が経過した際に発生するニーズもあるため、そのニーズを反映させた補助費目になるよう検討を行うことで、より被災者の方の要望に応じていけるものになるのではないかと考えられる。

### ✓**経費の前払い時期の迅速化を検討する**

他の補助事業団体では、事前に支援団体ネットワークと連携し、経費によっては、発災時にお金を出してもらうことを取り決めている。また、災害ボランティアセンターが立ち上がっている時に前払いで対応してもらえるとありがたいとのニーズを伺ったため、現状JKAが行っている経費の前払い時期を早めるなど、柔軟な対応を検討していくことが、より支援団体の方にとって使用しやすい補助につながるのではないかと考えられる。